



内閣府男女共同参画推進連携会議「次世代とともに歩む」発表資料

ユースの実態と副教材へのご提案

2020年12月21日

プラン・インターナショナル ユースグループ

中條、毛見、畑岡

PLAN YOUTH GROUP
for Plan International

プラン・ユースグループの調査



【プラン・インターナショナル ユースグループ】 女の子・女性に対する オンライン・ハラスメント調査発表と提言

2020年10月9日(金)
プラン・ユースグループ

PLAN YOUTH GROUP
for Plan International

プラン・ユースグループ実施

日本国内ユース世代のジェンダー課題

調査報告書

2020年7月

- ・プラン・ユースグループとは
- ・オンラインアンケート
- ・アンケート分析
- ・調査から見える課題と提言

PLAN YOUTH GROUP
for Plan International

15歳～24歳のユース
回答者 **544** 人

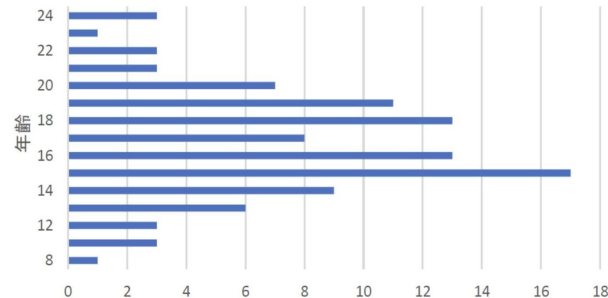
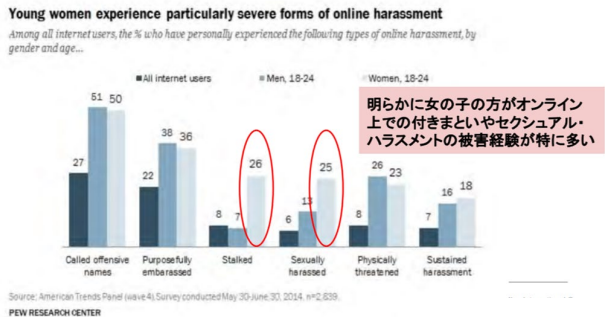
348	4	192
-----	---	-----



2015年の国連の報告書では、18～24歳の若年女性は、オンライン・ハラスメントの被害に遭うリスクがとて高いと指摘。

表 5 初めてオンライン・ハラスメントに遭った年齢

1. オンライン・ハラスメント



2. デートDV

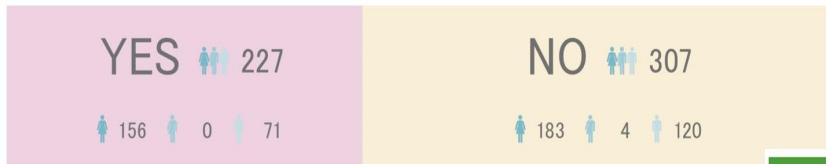
Q2 交際相手から不快な言動を受けたことがあるか？

回答者数 375 244 2 129



Q9 デートDVについて学校で習ったか？

回答者数 534 339 4 191



3. 早すぎる妊娠

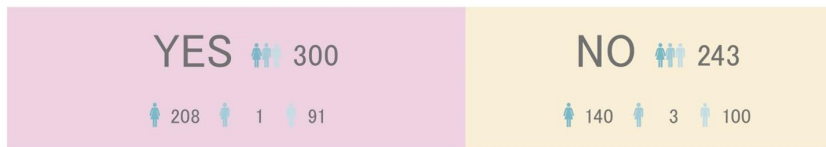
Q2 周りに早すぎると思われる妊娠をした人はいるか？

回答者数 542 348 4 190



Q5 あなたあるいは身近な人が望まない妊娠を経験した場合、相談先が思いあたるか？

回答者数 543 348 4 191



3 すべての人に健康と福祉を



副教材に対しての提案

Q1 早すぎる妊娠、デートDV、性的同意などのジェンダー課題を解決する際、改善すべき項目は何だと思いますか？【複数回答】

回答者数 1️⃣ 544 2️⃣ 348 3️⃣ 4 4️⃣ 192

教育 1️⃣ 489 2️⃣ 318 3️⃣ 2 4️⃣ 169

メディア 1️⃣ 287 2️⃣ 203 3️⃣ 1 4️⃣ 83

その他 1️⃣ 13 2️⃣ 4 3️⃣ 1 4️⃣ 8

→学校での早期からの教育が重要

● 日本の課題にも言及すること

→なぜか？：日本にも課題は山積みなのに、途上国の話ばかりすると問題を不可視化してしまう。遠い国の話ととらえ、自分事にならない。

01 不平等をなくそう!

生まれる環境は選ぶことができない。世界にはどのような不平等があるのか見てみよう

5歳になる前に亡くなる子どもが多い国 赤色 黄色 はどのような国でしょう?

年間560万人の子どもたちが5歳の誕生日を迎える前に亡くなっています。15歳から19歳までに1人、世界のどこかで幼い命が失われているのです。

6,100万人の小学校就学年齢の子どもたちが、学校に出席していません。*1「女の子だから」「男の子だから」「障がいがあるから」、理由は様々です。

世界の人口の10.7%の人々は、極度の貧困状態*2の下で暮らしています。*3特に南アジアとサハラ以南のアフリカに、極度の貧困の中で暮らす人が集中しています。また、その半数は子どもで約3億8,500万人近くにおよびます。*4

日本のように安全な水を必要とする国に利用できる人がアジアとサハラ以南の約5億5,900万人は汲み取り、雨水などの水をそのまま使っています。*5

陸動物を倫理的に処理できない国は約160か国あります。9,200万人以上が、様々な動物で肉を消費しています。*6

世界の赤ちゃんとお母さんを守る日本発祥の「母子健康手帳」

日本は、乳児死亡率が世界で一番低い国の一つです。一度買っているのが「母子健康手帳」。妊娠・出産から赤ちゃんが6歳になるまでの、母子が暮らしやすくなるための健康記録です。手帳の種類や内容、持ち方の異なる国が多くあり、調子があわないと赤ちゃんの健康を心配する心配をする必要があります。

日本は政府発行者（GOA）を採用して20年経ちますが、アジア・アフリカ諸国で母子健康手帳を認める国は増加傾向にあります。毎年250万人前後の保健の知識を向上させ、妊婦と乳幼児の健康状態を改善している。母子健康手帳にはそんな効果が期待されています。

日本発祥の母子健康手帳は、自治体ではどうも活用できていない。従来の手帳が持つ、乳児死亡率を減らすための効果が期待されています。

国連加盟国の多くが乳児死亡率を減らすことが目標として掲げられていますが、日本も例外ではありません。

乳児死亡率の推移 妊婦・出産中の合併症が原因で死亡する女性数は年間28万9,000人もいます。

乳児死亡率 世界の5歳未満児の12.2%（約1億1,000万人）が日本の水準を十分に取れず、貧困層の割合に近づいています。乳児死亡率の改善は、健康だけでなく経済の発展も促し、その影響は生涯にわたるものと期待されています。

性別を理由に機会が平等な国は少ないことが分かります。例えば、教育を受けられる女性の割合が男性よりも低い国も少なくありません。また、国会議員に占める女性の割合は世界的に低く2017年12月時点で、世界では23.9%（日本は11.3%）、男女が意思決定の過程に積極的に参加し、選挙権や選挙権が政治や政策に反映されていく必要があることとしても重要です。日本政府は「社会的責任を全うする国」を掲げて、2020年までに、労働参加率に女性が占める割合が、少なくとも30%程度となるよう期待する「社会的責任を全うする国」を掲げられています。

先進国の子どもの死亡率を子どもに開発途上国の死亡率に引き上げると、世界では3億3,000万人の子どもが死亡する可能性があります。日本は3億3,000万人の人口を擁している国で、先進国の死亡率に引き上げると、世界では3億3,000万人の子どもが死亡する可能性があります。

先進国の国連開発計画（UNDP）の報告によれば、先進国の子どもの死亡率を子どもに開発途上国の死亡率に引き上げると、世界では3億3,000万人の子どもが死亡する可能性があります。

企業は社会課題を解決

国連「持続可能な開発目標」の中、性別平等は17の目標の一つとして掲げられています。性別平等は、社会の持続可能な発展に不可欠な要素であり、経済成長や雇用創出、貧困削減などに大きく貢献しています。また、性別平等は、社会の持続可能な発展に不可欠な要素であり、経済成長や雇用創出、貧困削減などに大きく貢献しています。

国連「持続可能な開発目標」の中、性別平等は17の目標の一つとして掲げられています。性別平等は、社会の持続可能な発展に不可欠な要素であり、経済成長や雇用創出、貧困削減などに大きく貢献しています。

例えば...

(コラム) 意思決定に女性がいないとどうなるの？

日本...

政策を作る人の中に
女性がいない

↓

女性にとって生理用品が生活必需品だということが分からない

↓

生理用品はぜいたく品だから税金を上げよう

↓

女性の負担増

途上国

(SDG6 水と衛生)

生活用水を使い、水くみ労働をするのは主に女性

↓

井戸の管理や設置場所を決めるのは男性たち

↓

女性にとって不便な場所に設置されてしまう

↓

労働が増え、教育や経済活動の機会損失

例えば...

女性の貧困

日本

- ・ 男女の賃金格差は24.5%
- ・ 女性の貧困率の方が高い

なぜ？

- ・ 非正規雇用
- ・ 出産・育児の後の社会復帰の難しさ
- ・ 早すぎる妊娠
- ・ 母子家庭

漫画形式や、コラム、吹き出しなど

途上国

- ・ 1日1.25ドルで暮らす70%は女性

なぜ？

- ・ 社会・文化的習慣や規範
- 女の子は学校に行けない
女の子のための設備がない
早期妊娠、子育て...

途上国では女性が...なぜなら...

ひどい！でも日本はそんなことはないよね

実は日本でも～なぜなら～

本当だ！構造が似ているね

これらの障壁がなくなり、ジェンダー平等になれば～～な良いことがあるよ！

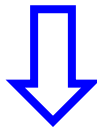
あらゆる面でいいことがあるんだね！早く達成するべきだね



...のような漫画形式など

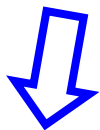
まとめ

日本と世界のジェンダー問題を知る

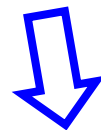


- 世界のジェンダー問題はつながっている
- 自分の身の回りの問題に立ち向かうこと
＝世界の課題に立ち向かうこと
- ジェンダー課題の是正は他の分野の進歩にもつながる

議論する



ジェンダーの視点
を養う



SDG5の重要性
を認識